

わがこころ

慰めかねつ

さらしなや

おぼすて山に

てる月をみて

古今和歌集（詠み人知らず）

美しさらしな

万葉歌人が憧れ、西行が歌い、世阿弥が舞い、芭蕉が訪ね、一茶が愛した、さらしな。

古代から日本人の憧れの地、さらしな。月の都、さらしな。汲みつくせない魅力の秘密は、ミステリアスなほど…。

その象徴である霊峰冠着山（焼捨山）は、今も美しく、その野を広げています。

この広がりの一帯を

「さらしなの里」と呼び、

ふるさと、地域を元気にしていくプロジェクトが始まりました。

「美しさらしな」を合い言葉に、ご一緒に取り組みませんか。さらしなの魅力を、もっと味わい、世界に広めて参りましょう。

さらしなルネサンス